

平成 28 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 ローヤル電機株式会社  
代表者名 代表取締役社長 佐藤和義  
(コード番号 6593)  
問合せ先 執行役員管理本部長 鮫島弘一  
(電話 03-5424-1860)

当社の親会社  
会 社 名 株式会社 小田原エンジニアリング  
代表者名 代表取締役社長 宮脇伸郎  
(コード番号 6149)

### 利益準備金の額の減少、並びに剰余金の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 28 年 3 月 25 日開催予定の第 62 回定時株主総会に利益準備金の額の減少、並びに剰余金の処分に関する議案を付議することについて、下記のとおり決議しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 利益準備金の額の減少

##### (1) 利益準備金の額の減少の目的

当社は、本日公表の平成 27 年 12 月期決算短信に記載のとおり、平成 27 年 12 月期決算において、6,996,865 円の繰越利益剰余金の欠損を計上しました。

この欠損を補填するとともに、当社の基本方針である安定的な配当を継続するための分配可能額を確保するため、利益準備金の額を減少するものであります。

##### (2) 利益準備金の額の減少の要領

###### ① 減少する利益準備金の額及び減少の方法

会社法第 448 条第 1 項の規定に基づき、平成 27 年 12 月 31 日現在の利益準備金の額 115,000,000 円の全額を減少し、その全額を繰越利益剰余金に振り替えます。減少後の利益準備金の額は 0 円となります。

###### ② 利益準備金の額の減少に関する日程

取締役会決議日	平成 28 年 2 月 10 日
債権者異議申述公告	平成 28 年 2 月 24 日 (予定)
債権者異議申述最終期日	平成 28 年 3 月 24 日 (予定)
株主総会決議日	平成 28 年 3 月 25 日 (予定)
効力発生日	平成 28 年 3 月 25 日 (予定)

###### ③ 今後の見通し

上記の利益準備金の額の減少は、当社貸借対照表の純資産の部における勘定科目の振替処理となるため、損益及び純資産額に変動はなく、当社の業績に影響を与えるものではありません。

なお、上記の内容は、平成 28 年 3 月 25 日開催予定の第 62 回定時株主総会において承認可決されることを条件としております。

## 2. 平成27年12月31日を基準日とする剰余金の処分について

### (1) 配当決定の理由

当社は、当期の業績と将来の事業展開を考慮し、安定的な経営基盤を確保しつつ、株主に対する利益還元を可能な限り充実させていくことが、経営の重要課題と考えております。

平成27年12月期は当期純損失となりましたが、上記方針に基づき、また上記の「1. 利益準備金の額の減少」が実施されることを条件に、期末配当を1株当たり5円とすることといたしました。

### (2) 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (平成27年11月11日公表)	前期実績 (平成26年12月期)
基 準 日	平成27年12月31日	同 左	平成26年12月31日
1株当たり配当金	5円00銭	同 左	5円00銭
配当金総額	21百万円	—	21百万円
効力発生日	平成28年3月26日 (予定)	—	平成27年3月27日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

### (参考) 年間配当金の内訳

基 準 日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当 期 実 績	0円00銭	5円00銭 (予定)	5円00銭 (予定)
前 期 実 績 (平成26年12月期)	0円00銭	5円00銭	5円00銭

以 上